

# 2022年3月期第1四半期 決算説明資料

---

2021.8.5

TIS株式会社

## 2022年3月期第1四半期 業績概要

- ・前年同期比増収増益、営業利益は初の100億円超え
- ・売上総利益率向上が牽引し、営業利益率は9.0%へ向上
- ・受注高、受注残高とも積み上がり、前年同期比増加

## 2022年3月期第1四半期 業績概要

## 2022年3月期 業績見通し

## 参考資料

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 各四半期会計期間（3カ月）の数値は累計期間の差引により算出しています。
- 各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。
- 2022年3月期第1四半期より、「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

## 2022年3月期第1四半期 業績概要

2022年3月期 業績見通し

参考資料

・顧客のデジタル変革需要をはじめとするIT投資需要の好調な推移に加え、M&A効果も寄与し、増収増益。営業利益率は9.0%へ向上。

（百万円）	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比	
売上高	100,399	<b>113,520</b>	+13,121	(+13.1%)
営業利益	7,678	<b>10,258</b>	+2,580	(+33.6%)
営業利益率	7.6%	<b>9.0%</b>	+1.4P	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,527	<b>7,002</b>	+1,475	(+26.7%)
四半期純利益率	5.5%	<b>6.2%</b>	+0.7P	—

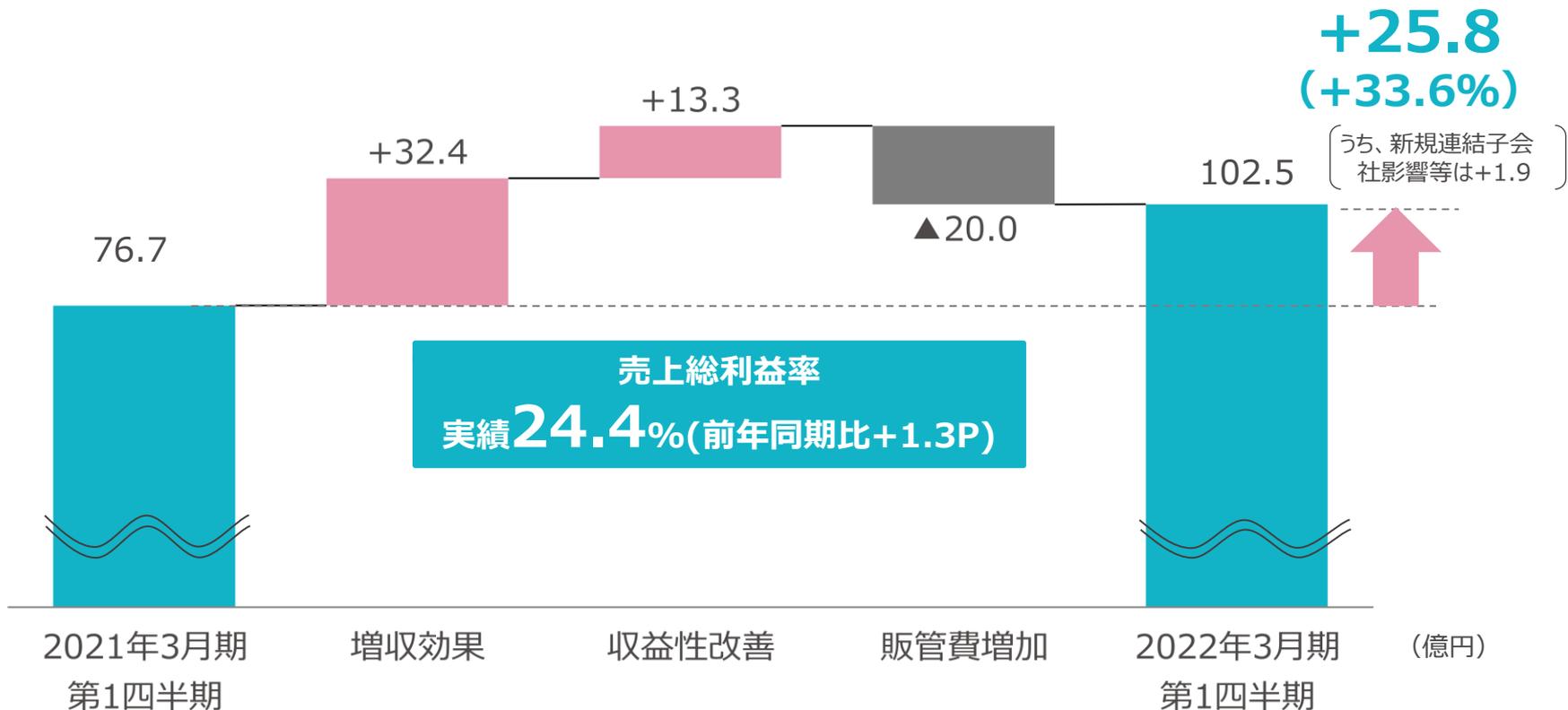
・営業外収益：912百万円（前期比 ▲176百万円）  
 ・営業外費用：311百万円（前期比 +86百万円）

・特別利益：0百万円（前期比 ▲4百万円）  
 ・特別損失：328百万円（前期比 ▲119百万円）

# 2022年3月期第1四半期 主要セグメント別損益状況（前年同期比）

(百万円)		2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比	
サービスIT	売上高	30,148	<b>36,897</b>	+6,749	(+22.4%)
	営業利益	1,144	<b>2,054</b>	+910	(+79.5%)
	営業利益率	3.8%	<b>5.6%</b>	+1.8P	—
BPO	売上高	8,280	<b>8,897</b>	+617	(+7.5%)
	営業利益	557	<b>678</b>	+120	(+21.6%)
	営業利益率	6.7%	<b>7.6%</b>	+0.9P	—
金融IT	売上高	25,721	<b>29,571</b>	+3,850	(+15.0%)
	営業利益	2,774	<b>3,584</b>	+809	(+29.2%)
	営業利益率	10.8%	<b>12.1%</b>	+1.3P	—
産業IT	売上高	43,473	<b>44,492</b>	+1,018	(+2.3%)
	営業利益	3,104	<b>3,673</b>	+569	(+18.3%)
	営業利益率	7.1%	<b>8.3%</b>	+1.2P	—

サービスIT：デジタル化の進展に伴うIT投資需要の取り込み(決済・マーケティング領域)に加え、M&A効果も寄与し、増収増益。  
 BPO：保険業界をはじめとする企業のアウトソーシングニーズの高まりを受けて堅調に推移し、増収増益。  
 金融IT：クレジットカード系の根幹先顧客におけるIT投資拡大の動き等を受け、増収増益。  
 産業IT：M&A効果に加え、根幹先顧客が堅調。収益認識基準適用に伴う減収影響を吸収し、増収増益。



**構造転換推進のための先行投資コスト：前年同期比+4.5**

(売上原価：+0.7 販管費+3.8)

- ✓「新サービス創出のためのソフトウェア投資」
  - ✓「構造転換を促進するための人財投資」
  - ✓「先端技術獲得のための研究開発投資」
- } に関するコスト

**働き方改革推進のためのオフィス改革コスト：前期比+9.2**

(売上原価：+3.3 販管費+5.9)

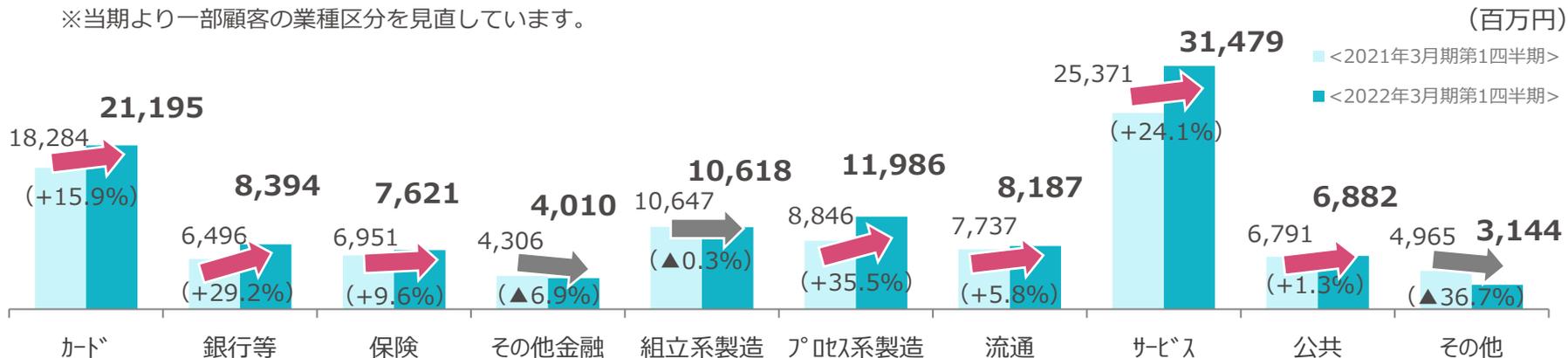
＜販管費増減＞

新規連結子会社影響等	+9.0
オフィス改革	+5.9
ブランド関連	+1.7
経費削減・本社機能高度化	+1.0
先行投資・その他	+2.5
計	+20.0

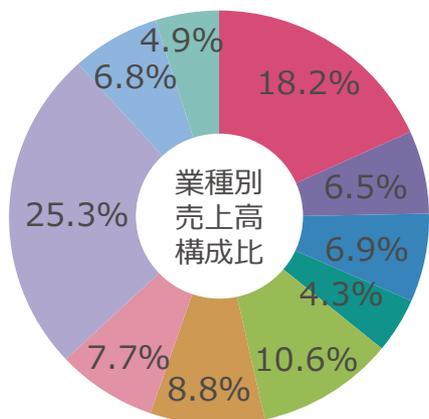
# 2022年3月期第1四半期 顧客業種別売上高

・根幹先顧客を中心にカード、プロセス系製造が好調。銀行、サービスの増加はM&A効果が寄与。

※当期より一部顧客の業種区分を見直しています。

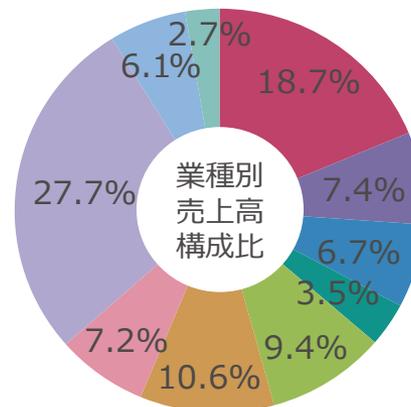


<2021年3月期第1四半期>



金融分野：35.9% 産業分野：52.4%  
公共分野：6.8% その他：4.9%

<2022年3月期第1四半期>



金融分野：36.3% 産業分野：54.9%  
公共分野：6.1% その他：2.7%

・ソフトウェア開発の積み上がりが牽引し、受注高・受注残高とも前年同期比増加。サービスITの増加はM&A効果が寄与。

（百万円）	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比	
当期受注高	76,822	<b>88,709</b>	+11,886	(+15.5%)
サービスIT	23,695	<b>24,779</b>	+1,084	(+4.6%)
BPO	7,581	<b>8,331</b>	+749	(+9.9%)
金融IT	12,421	<b>17,669</b>	+5,248	(+42.3%)
産業IT	33,124	<b>37,929</b>	+4,804	(+14.5%)
期末受注残高	110,524	<b>123,519</b>	+12,995	(+11.8%)
サービスIT	31,481	<b>35,858</b>	+4,376	(+13.9%)
金融IT	31,257	<b>36,309</b>	+5,051	(+16.2%)
産業IT	47,784	<b>51,352</b>	+3,567	(+7.5%)

・受注高、受注残高とも前年同期比増加。根幹先顧客向け好調を背景に積み上がった金融IT及び産業ITが牽引。サービスITは小幅減少だが、主に個別案件の影響によるもの。

（百万円）	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比	
当期受注高	49,804	<b>61,326</b>	+11,521	(+23.1%)
サービスIT	15,068	<b>14,648</b>	▲419	(▲2.8%)
金融IT	9,770	<b>14,479</b>	+4,708	(+48.2%)
産業IT	24,965	<b>32,197</b>	+7,232	(+29.0%)
期末受注残高	76,410	<b>84,794</b>	+8,383	(+11.0%)
サービスIT	18,619	<b>20,216</b>	+1,596	(+8.6%)
金融IT	22,722	<b>25,502</b>	+2,780	(+12.2%)
産業IT	35,068	<b>39,075</b>	+4,006	(+11.4%)

2022年3月期第1四半期 業績概要

2022年3月期 業績見通し

参考資料

・顧客のデジタル変革需要への的確な対応による事業拡大に加え、前期中に子会社化した企業の業績が通期にわたって反映されることにより、業績伸長を見込む。

(百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	前期比	
売上高	448,383	<b>470,000</b>	+21,617	(+4.8%)
営業利益	45,748	<b>48,500</b>	+2,752	(+6.0%)
営業利益率	10.2%	<b>10.3%</b>	+0.1P	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	27,692	<b>32,200</b>	+4,508	(+16.3%)
当期純利益率	6.2%	<b>6.9%</b>	+0.7P	—
1株当たり当期純利益 (円)	110.51	<b>128.78</b>	+18.27	(+16.5%)
ROE *1	10.8%	<b>11.5%</b>	+0.7P	—

\*1 2022年3月期のROEは、試算値。

(百万円)		2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	前期比	
サービスIT	売上高	136,946	<b>155,500</b>	+18,554	(+13.5%)
	営業利益	8,695	<b>10,800</b>	+2,105	(+24.2%)
	営業利益率	6.3%	<b>6.9%</b>	+0.6P	—
BPO	売上高	35,453	<b>36,000</b>	+547	(+1.5%)
	営業利益	3,105	<b>3,300</b>	+195	(+6.3%)
	営業利益率	8.8%	<b>9.2%</b>	+0.4P	—
金融IT	売上高	110,660	<b>117,000</b>	+6,340	(+5.7%)
	営業利益	15,320	<b>16,000</b>	+680	(+4.4%)
	営業利益率	13.8%	<b>13.7%</b>	▲0.1P	—
産業IT	売上高	194,414	<b>191,000</b>	▲3,414	(▲1.8%)
	営業利益	18,710	<b>19,200</b>	+490	(+2.6%)
	営業利益率	9.6%	<b>10.1%</b>	+0.5P	—

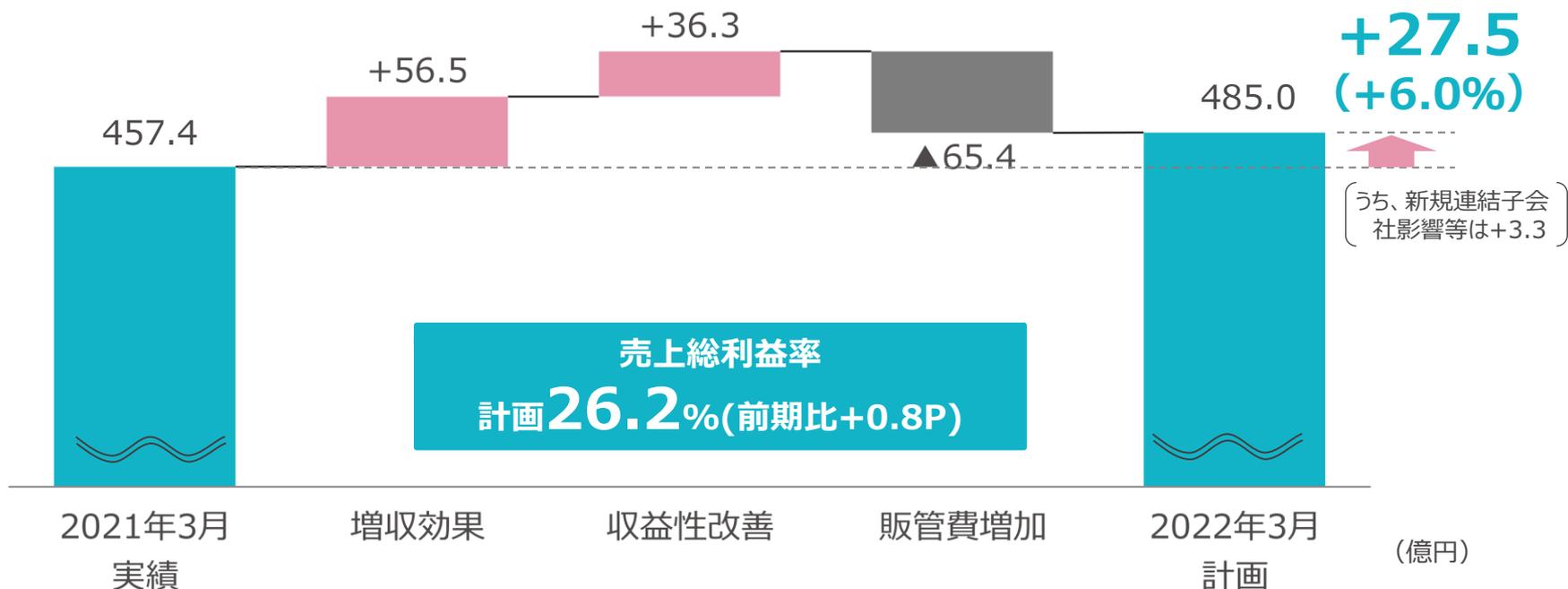
サービスIT：決済関連ビジネスのIT投資需要の取り込みのほか、前期中に連結化した効果の通期寄与により、増収増益の計画。

BPO：アウトソーシング需要の堅調な推移と収益性改善の継続により、増収増益の計画。

金融IT：根幹先顧客を中心としたIT投資の増加を受けて、増収増益の計画。

産業IT：減収計画は「収益認識に関する会計基準」の適用による影響。実勢ベースは堅調で増収増益を見込む。

・高付加価値ビジネス推進や生産性向上等がオフィス改革コストを含めた積極的な成長投資に伴うコスト増を吸収し、営業増益を見込む。



**構造転換推進のための先行投資コスト：前期比+25.0**

(売上原価：+10.0 販管費+15.0)

- ✓「新サービス創出のためのソフトウェア投資」
  - ✓「構造転換を促進するための人財投資」
  - ✓「先端技術獲得のための研究開発投資」
- } に関するコスト

**働き方改革推進のためのオフィス改革コスト：前期比+35.0**

(売上原価：+10.0 販管費+25.0)

<販管費増減>

新規連結子会社影響等	+20.1
オフィス改革	+25.0
ブランド関連	+0.0
経費削減・本社機能高度化	▲5.0
先行投資・その他	+25.3
計	+65.4

2022年3月期第1四半期 業績概要

2022年3月期 業績見通し

参考資料

(百万円)		2021年3月期 上期	2022年3月期 上期	前年同期比	
売上高		211,308	225,000	+13,692	(+6.5%)
営業利益		18,211	20,500	+2,289	(+12.6%)
営業利益率		8.6%	9.1%	+0.5P	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益		10,277	13,700	+3,423	(+33.3%)
四半期純利益率		4.9%	6.1%	+1.2P	—
<b>主要セグメント別</b>					
サービスIT	売上高	62,869	74,000	+11,131	(+17.7%)
	営業利益	2,572	4,300	+1,728	(+67.2%)
	営業利益率	4.1%	5.8%	+1.7P	—
BPO	売上高	17,066	17,500	+434	(+2.5%)
	営業利益	1,309	1,400	+91	(+7.0%)
	営業利益率	7.7%	8.0%	+0.3P	—
金融IT	売上高	53,590	57,000	+3,410	(+6.4%)
	営業利益	6,675	7,200	+525	(+7.9%)
	営業利益率	12.5%	12.6%	+0.1P	—
産業IT	売上高	91,473	90,000	▲1,473	(▲1.6%)
	営業利益	7,799	7,900	+101	(+1.3%)
	営業利益率	8.5%	8.8%	+0.3P	—

(百万円)		2021年3月期 下期	2022年3月期 下期	前年同期比	
売上高		237,075	245,000	+7,925	(+3.3%)
営業利益		27,537	28,000	+463	(+1.7%)
営業利益率		11.6%	11.4%	▲0.2P	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益		17,415	18,500	+1,085	(+6.2%)
四半期純利益率		7.3%	7.6%	+0.3P	—
<b>主要セグメント別</b>					
サービスIT	売上高	74,076	81,500	+7,424	(+10.0%)
	営業利益	6,122	6,500	+378	(+6.2%)
	営業利益率	8.3%	8.0%	▲0.3P	—
BPO	売上高	18,387	18,500	+113	(+0.6%)
	営業利益	1,795	1,900	+105	(+5.8%)
	営業利益率	9.8%	10.3%	+0.5P	—
金融IT	売上高	57,069	60,000	+2,931	(+5.1%)
	営業利益	8,645	8,800	+155	(+1.8%)
	営業利益率	15.1%	14.7%	▲0.4P	—
産業IT	売上高	102,940	101,000	▲1,940	(▲1.9%)
	営業利益	10,910	11,300	+390	(+3.6%)
	営業利益率	10.6%	11.2%	+0.6P	—

発表日付	タイトル
2021年4月1日	TISおよび連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2021年4月2日	TIS協賛の「第2回 未来と健康のための高校生ビジネスコンテスト」開催
2021年4月5日	クオリカ、コマツの生産現場で培った技術とノウハウを活かしたIoT生産支援プラットフォーム「KOM-MICS」を販売開始
2021年4月6日	ネクスウェイのSMS配信サービス『SMSLINK』、リックソフトの業務プロセス自動化ツール「Workato」と連携
2021年4月7日	インテック、複数クラウドサービスのID認証を一括で管理できる「ID認証サービス」に新機能を追加
2021年4月12日	TIS、XR技術を活用したサービスを「XR総合展」に出展
2021年4月16日	TIS、ローカル5G無線局免許を取得
2021年4月16日	インテック、インターネットEDIのデータ交換共通認証局認定制度の第一号認定を取得
2021年4月19日	世界最大規模のデータ分析コンペティション「Kaggle」において、高志インテックのデータサイエンティストが Gold メダルを獲得
2021年4月20日	TIS、地域医療情報連携システム「ヘルスケアパスポート」に医療機関から患者・家族へのセキュアなお知らせ機能を追加
2021年4月21日	TIS、「UiPath Partner Awards 2020」でパートナーアワードを受賞
2021年4月22日	TISと東和薬品がクラウド型地域医療情報連携サービス「ヘルスケアパスポート」の協業販売にむけたアライアンス契約を締結
2021年4月26日	栃木銀行がインテックの新サービス「F <sup>3</sup> （エフキューブ）法人向けソリューション営業支援サービス」を初採用
2021年4月26日	次世代型ITアウトソーシングサービスの中核機能「MSCC」をアップデート
2021年5月10日	インテック、老舗化粧品メーカー伊勢半のDX基盤をmcfame 7で構築
2021年5月17日	ネクスウェイの提供する「医薬情報おまとめ便サービス」が管理薬剤師認知率97%を突破
2021年5月21日	ユーザーの趣味趣向に合わせた観光地を提示できる観光型MaaS「札Navi」を札幌で実証事業
2021年5月25日	AWSの「Japan APN Ambassadors 2021」「2021 APN AWS Top Engineers」にTIS社員が選出
2021年5月25日	ネクスウェイ、反社チェックやPEPs確認までワンストップでのKYC業務支援を実現
2021年5月27日	TIS、経産省が定める「DX認定事業者」に選定
2021年5月31日	中央システム、クラウド型物品管理・棚卸システム『fine asset』をリニューアル
2021年5月31日	「ネクスウェイ本人確認サービス」、レプスの不動産クラウドファンディングシステム「不特法クラウド」と連携
2021年6月1日	TISの健康活動サポートアプリ「ASTARI」、「楽天リワード」に対応
2021年6月3日	TISと日本IBM、メインフレームのモダナイゼーションで協業
2021年6月3日	アグレックス、intra-mart ビジネスにおいて大きな功績をあげたパートナー企業に贈られる「intra-mart Award 2021」を受賞
2021年6月4日	TISインテックグループ、TCFD提言に向けた賛同を表
2021年6月4日	TIS、中国 清華大学の学生へ向けた創造性、革新性、起業家精神を育むためのイベント「学長杯」に協賛
2021年6月7日	TIS、XR技術を活用したバーチャルツアーサービス「XR Campus - ツアー」のトライアル版を提供開始

発表日付	タイトル
2021年6月8日	マイデータ・インテリジェンスとアグレックス、改正個人情報保護法やアフターcookie 時代に対応する、同意情報管理を支援するサービス提供開始
2021年6月11日	京都市の医療・介護等の統合データ分析事業における生活習慣病に係る共同研究を東和薬品、TIS、ヘルステック研究所で実施
2021年6月11日	TISインテックグループコーポレート・サステナビリティ基本方針及び人権方針を制定
2021年6月16日	アグレックス、AWSサービスデリバリープログラム「Amazon EC2 for Windows Server」認定を取得
2021年6月17日	インテック、統合ログ管理「LogRevi」に従業員の行動を可視化する「行動管理レポート」機能を追加
2021年6月21日	TIS、地域の減災施策として電気自動車（EV）の新たな活用方法を山梨県北杜市の実証実験にて確立
2021年6月21日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2021年6月22日	和歌山ワーケーションは業務生産性および心身健康の向上に寄与
2021年6月24日	AJS、アスプローバ社の「ブレークスルーパートナーAward 2020」を受賞
2021年6月25日	TIS、中国のAIoT企業「南京苗米科技有限公司(Miaomi Technology)」と資本・業務提携
2021年6月28日	TIS、東京大学稲見研究室とXR技術を活用した遠隔コミュニケーションの社会実装に関する共同研究を開始

# ITで、社会の願い叶えよう。



# TIS INTEC

Group

<本資料の取り扱いに関して>

本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。